

# 平成27年度 年間授業計画

東京都立第三商業高等学校 定時制

		担 当 者	
教 科	国語	科 目	国語総合（2単位）
対 象	第1学年		
教 科 書	三省堂「明解国語総合」		
副教材その他	自作プリント		
目 標	基礎的・基本的な知識および技能の確実な習得をはかる。 自分の考えをまとめて相手に伝える表現力の向上をはかる。		
学期	時間	単 元	内 容
1	1 4	詩 国語の基礎	萩原朔太郎「旅上」「シリウス」「シジミ」 漢検7級の漢字 マナトレ国語基礎編
	1 4	小説 国語の基礎	黒柳徹子 「ツゴイネルワイゼン」 漢検7級の漢字・ マナトレ国語基礎編
2	1 4	随想 国語の基礎	池田晶子「あたりまえなことにありがとう」 漢検6級の漢字 マナトレ国語基礎編
	1 4	古文 国語の基礎	百人一首1番～10番 漢検6級の漢字・マナトレ国語基礎編
3	1 4	古文 国語の基礎	百人一首11番～20番 漢検5級の漢字・マナトレ国語基礎編

評 価	1、小学校で学習する程度の国語常識が身に付いている。 2、テーマを推測しながら作品を読める。 3、グループで関係をつくりあげ、百人一首を友達と楽しむことができる。
-----	---

# 平成27年度 年間授業計画

東京都立第三商業高等学校 定時制

		担 当 者	
教 科	国語	科 目	国語総合（2単位）
対 象	第2学年		
教 科 書	三省堂「明解国語総合」		
副教材その他	自作プリント		
目 標	読み書きの基礎の向上をはかる。 自分の考えをまとめて相手に伝える表現力の向上をはかる。		
学期	時間	単 元	内 容
1	1 4	小説を読む 国語の基礎	谷村志穂「雪ウサギ」 マナトレ国語標準編・漢検7級の漢字
	1 4	評論を読む 国語の基礎	松浦啓一「魚は陸から離れられない」 マナトレ国語標準編・漢検7級の漢字
2	1 4	小説を読む 国語の基礎	芥川龍之介「羅生門」 マナトレ国語標準編語・漢検6級の漢字
	1 4	古文 国語の基礎	百人一首21番～30番 マナトレ国語標準編・漢検6級の漢字
3	1 4	古文 国語の基礎	百人一首31番～4 マナトレ国語標準編・漢検5級の漢字

評 価	1、小学校で学習する程度の国語常識が身に付いている。 2、テーマを推測しながら作品を読める。 3、百人一首を友達と楽しむことができる。
--------	---

# 平成27年度 年間授業計画

東京都立第三商業高等学校 定時制

		担 当 者	
教 科	国語	科 目	現代文 A ( 2 単位)
対 象	第3学年		
教 科 書	第一学習社 「高等学校改訂版新編現代文」		
副教材その他	自作プリント		
目 標	読み書きの基礎力を充実させる。 他者とのかかわりや資料の活用によって自分の考えを深め、表現力を高めていく。		
学期	時間	単 元	内 容
1	1 4	詩 国語の基礎	中原中也「汚れつちまつた悲しみに・・・」「夏の本」「生命は」 マナトレ国語挑戦編・漢検7級程度の漢字学習
	1 4	自己を見つめる 国語の基礎	鷲田小弥太「自分を知ることがいちばんおもしろい」 マナトレ国語挑戦編・漢検7級程度の漢字学習
2	1 4	言葉と思索 国語の基礎	阿刀田高「犬も歩けば棒に当たる」 マナトレ国語挑戦編・漢検6級程度の漢字学習
	1 4	国語の基礎 古典的教養	マナトレ国語挑戦編、漢検6級程度の漢字学習 百人一首 41番～50番
3	1 4	古典的教養 国語の基礎	百人一首 51番～60番 マナトレ国語、漢検6級程度の漢字学習

評 価	<p>3、小学校で学習する程度の国語常識が身に付いている。</p> <p>4、テーマを推測しながら作品を読める。</p> <p>3、グループをつくりその中で、百人一首を楽しむことができる。</p>
-----	--

# 平成27年度 年間授業計画

東京都立第三商業高等学校 定時制

		担 当 者	
教 科	国語	科 目	現代文（2単位）
対 象	第4学年		
教 科 書	第一学習社 「高等学校改訂版新編現代文」		
副教材その他	自作プリント		
目 標	読み書きの基礎力を充実させる。 他者とのかかわりや資料の活用によって自分の考えを深め、表現していく。		
学期	時間	単 元	内 容
1	1 4	小説を読む 国語の基礎	井上ひさし「ナイン」 マナトレ国語挑戦編、漢検7級程度の漢字学習
	1 4	自己を見つめる 国語の基礎	鷲田小弥太「自分を知ることがいちばんおもしろい」 マナトレ国語挑戦編、漢検7級程度の漢字学習
2	1 4	言葉と思索 国語の基礎	阿刀田高「犬も歩けば棒に当たる」 マナトレ国語挑戦編、漢検6級程度の漢字学習
	1 4	国語の基礎 古典的教養	マナトレ国語挑戦編、漢検6級程度の漢字学習 百人一首 61番～70番
3	1 4	国語の基礎 古典的教養	マナトレ国語挑戦編、漢検5級程度の漢字学習 百人一首71番～100番

評 価	5、小学校で学習する程度の国語常識が身に付いている。 6、テーマを推測しながら作品を読める。 3、グループをつくり、その中で百人一首を楽しむことができる。
--------	---

# 平成27年度 年間授業計画

東京都立第三商業高等学校 定時制

		担 当 者	
教 科	国語	科 目	総合選択国語表現Ⅰ（2単位）
対 象	第4学年		
教 科 書	教育出版「国語表現Ⅰ改訂版」		
副教材その他	自作プリント		
目 標	選択者個々の能力、進路希望に応じて、読み、書き、発表の力を向上させる。		
学期	時間	単 元	内 容
1	1 4	「速く正確に書き写す」他 文章実践	文字を速く書き写す。 原稿用紙の書き方、文章の構成、テーマ「私の好きなことば」
	1 4	「コラムを書く」他 文章実践・漢字の基本	文章を実際を書く。テーマ「私の好きな歌」「私の育った町」 常用漢字から中級程度の漢字を学習する。
2	1 4	「川柳を作ってみよう」 文章実践	川柳の創作を通して伝統文化に触れる。 個人別テーマ学習。進学、就職に必要な文章を書く。
	1 4	「小論文を書く」 文章実践	小論文形式を理解する。 個人別テーマ学習。進学、就職に必要な文章を書く。
3	1 4	文章実践	卒業文集のための原稿を作成する。

評 価	自分の考えを文章に表現できたか。添削等を受け評価される。
-----	------------------------------

# 平成27年度年間授業計画

東京都立第三商業高等学校 定時制

		担 当 者		
教 科	地理歴史	科 目	世界史 A (2単位)	
対 象	3年生			
教 科 書	山川出版 現代の世界史			
副教材その他				
目 標	主に現代社会につながる世界史の流れを日本との関係をふまえて理解させる。			
学期	時間	単 元	内 容	
1	14	ルネサンス・宗教改革・大航海時代	ヨーロッパの近代社会の始まりと世界進出について学習する。	
	14	ヨーロッパの主権国家、アメリカの独立・フランス革命	絶対主義の成立や革命による市民社会の成立などを学習する。	
2	14	産業革命の成立とヨーロッパ諸国	西欧の産業革命の成立とその進展について学習する。	
	14	アメリカ合衆国の膨張・ヨーロッパ諸国のアジア進出	アメリカの拡大や政党諸国の東アジアとの関係などを学習する。	
3	14	第一次・二次大戦と戦後の世界政治	二度にわたる戦争の原因とその後の世界政治の動向を学習する。	

評 価	(観点・基準) 近現代史を中心に以下のことを評価する。
	1. 世界の歴史に対する関心を高め、国際社会に主体的に生きようとする態度を持っている。
	2. 世界の歴史から課題を発見・考察するとともに国際社会の変化を踏まえ、正しく判断ができる。
	3. 世界の歴史についての基本的な事柄を理解し、その知識を身につけている。

# 平成27年度年間授業計画

東京都立第三商業高等学校 定時制

		担 当 者	
教 科	地理歴史	科 目	日本史 A (2単位)
対 象	3年生		
教 科 書	山川出版 改訂版 日本史 A		
副教材その他			
目 標	日本の近・現代社会の成立を世界史的観点から理解させる。		
学期	時間	単 元	内 容
1	14	古代・中世・近世の日本	幕末期以前の日本の動きと対外関係について学習する
	14	幕末・開国・維新の政治	開国と維新期の政治を対外関係をふまえて理解させる
2	14	明治・大正期の政治	近代日本帝国主義の成立と対外関係などについて学ばせる
	14	日本と中国の関係 第二次大戦	東アジアにおける日本の政策と第二次大戦に至る事情などについて学習させる。
3	6	日本国憲法と戦後社会	日本の民主社会の成立を日本国憲法や国際社会の動きなどをふまえて理解させる。

評 価	(観点・基準) 近現代史を中心として以下のことを評価する。
	1. 日本の歴史に対する関心を高め、国際社会に生きる日本人としての責任を果たそうとしている。
	2. 日本の歴史における課題を発見・考察し、国際社会の変化を踏まえ、公正に判断する。
	3. 日本の歴史に関する資料から歴史的事象を追及・考察し、その過程・結果を表現できる。
	4. 日本の歴史についての基本的な事柄を理解し、その知識を身につけている。

# 平成27年度年間授業計画

東京都立第三商業高等学校 定時制

		担 当 者		
教 科	公民	科 目	現代社会（2単位）	
対 象	2年生			
教 科 書	清水 高等学校現代社会 最新版			
副教材その他				
目 標	現代日本及び世界各国のさまざまな現状を学ぶとともに、今後取り組むべき課題などについて学習する。			
学期	時間	単 元	内 容	
1	14	日本国憲法の原則	日本国憲法の成立事情などについて学習する。	
	14	日本の政治の仕組み	民主主義の政治について学習する。	
2	14	現代の経済と政府の役割	資本主義経済の基本的仕組みなどについて学習する。	
	14	経済のあり方と国民福祉	バランスのとれた経済発展と国民の福祉のあり方について学習する。	
3	14	地球環境を考える	地球の環境悪化の現状とその対策等について学習する。	

評 価	(観点・基準) 定期考査を基準に日常の取組み等を総合的に勘案して行う。 ノート及び提出物
-----	--



# 平成27年度年間授業計画

東京都立第三商業高等学校 定時制

		担 当 者		
教 科	数学	科 目	数学 I (2単位)	
対 象	1年生			
教 科 書	7実教数 I 306 高校数学 I			
副教材その他	マナトレ			
目 標	数学 I の基礎的・基本的な知識の確実な習得。主体的に学習に取り組む態度を育成する。基本的な知識を活用して、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力を育成する。			
学期	時間	単 元	内 容	
1	7	○二次関数	一次関数とそのグラフ 二次関数とそのグラフ	
	11	○二次関数	二次関数とそのグラフ	
2	10	○実数	平方根とその計算	
	13	○方程式と不等式	一次方程式 一次不等式	
3	11	○三角比	三角比 三角比の利用 三角比の相互関係 鈍角の三角比	

評 価	(観点・基準) 小数の加法、減法、乗法の計算の基本を身につける。 二次関数のグラフをかけるようにする。
-----	---

# 平成27年度年間授業計画

東京都立第三商業高等学校 定時制

		担 当 者		
教 科	数学	科 目	数学 I (2単位)	
対 象	2年生			
教 科 書	7実教数 I 306 高校数学 I			
副教材その他	マナトレ			
目 標	数学 I の基礎的・基本的な知識の確実な習得。主体的に学習に取り組む態度を育成する。基本的な知識を活用して、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力を育成する。			
学期	時間	単 元	内 容	
1	8	○数列	等差数列 等差数列の和 等比数列 等比数列の和	
	12	○順列・組合せ	順列 組合せ	
2	10	○順列・組合せ	順列 組合せ	
	10	○集合と論証	集合と要素	
3	12	直線状上の点の座標と内分・外分	2点間の距離 内分点の座標	

評 価	(観点・基準) 小数の加法、減法、乗法の基礎を身につけさせる。 文字式に数値を代入して計算することができる。
-----	--

# 平成27年度年間授業計画

東京都立第三商業高等学校 定時制

		担 当 者	
教 科	数学	科 目	数学活用 (2単位)
対 象	3年生		
教 科 書	7実教数活301 数学活用		
副教材その他			
目 標	数学活用の学習を通して、数学の基礎的、基本的知識を確実に習得する。また、主体的に学習に取り組む態度を育成する。習得した知識を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力を育成する。		
学期	時間	単 元	内 容
1	9	数列	等差数列 等差数列の和
	11	数列	等比数列 等比数列の和
2	10	指数関数	指数の拡張 指数関数のグラフ
	13	対数関数	対数 対数関数のグラフ
3	13	いろいろな場合の数	試合数は全部でいくつか 樹形図 最短距離の道順

評 価	(観点・基準) 小数の加法、減法、乗法の基礎を身につけさせる。 文字式に数値を代入して計算することができる。
-----	--

# 平成27年度年間授業計画

東京都立第三商業高等学校 定時制

		担 当 者		
教 科	数学	科 目	数学活用（2単位）	
対 象	4年生の総合選択の選択者			
教 科 書	7実教数活301 数学活用			
副教材その他				
目 標	数学活用の学習を通して、数学の基礎的、基本的知識を確実に習得する。また、主体的に学習に取り組む態度を育成する。習得した知識を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力を育成する。			
学期	時間	単 元	内 容	
1	8	正の数・負の数	正の数・負の数の計算	
	12	文字を使った式	文字を使った式の計算	
2	9	方程式	1次方程式とその解	
	11	方程式	2次方程式とその解	
3	6	連立方程式	連立方程式の解	

評 価	<p>(観点・基準)</p> <p>小数の加法、減法、乗法を身につけさせる。</p> <p>文字式に数値を代入して、計算することができる。</p>
-----	---

# 平成27年度年間授業計画

東京都立第三商業高等学校 定時制

		担 当 者		
教 科	理科	科 目	科学と人間生活(2単位)	
対 象	第二学年			
教 科 書	科学と人間生活 (第一学習社)			
副教材その他	理科資料集			
目 標	主に中学校の内容を復習することを目標とし、今後の生物の学習に活用する。			
学期	時間	単 元	内 容	
1	14	太陽系の構造と広がり 日本列島の景観	太陽系の形成と地球の誕生 太陽と惑星の特徴 大地の変化と地球の地形、地球の内部構造	
	14	太陽と人間生活 自然界に見られる微生物	大気と水の動き、天気の変化、日本列島の天気の特徴 生物の多様性・共通性、地球上のさまざまな生物	
2	14	生命の科学と遺伝	生物体と細胞、細胞のつくりとはたらき 細胞分裂と生殖、遺伝のしくみ 遺伝子の本体と DNA	
	14	生態系内の微生物	生命の起源と誕生 地質時代と生物の移り変わり 人類の出現	
3	14	生物の生命活動に影響を 与える要因	生物の集団、種内・種間の関係 生態系とその平衡 さまざまな生態系	

評 価	(観点・基準) 定期考査、課題、提出物、出席状況、授業への取り組み状況等を総合的に評価する。
-----	---

# 平成 27 年度年間授業計画

東京都立第三商業高等学校 定時制

		担 当 者		
教 科	理科	科 目	生物基礎 (2 単位)	
対 象	第 3 学年			
教 科 書	生物基礎 (東京書籍)			
副教材その他	資料を配布			
目 標	科学と人間生活の内容をふまえて、さらに生物の内容を深めていく。			
学期	時間	単 元	内 容	
1	14	生物の多様性と共通性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 多様な生物の共通点</li> <li>・ 生物の共通性としての細胞</li> </ul>	
	14	生命活動とエネルギー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ エネルギーと代謝</li> <li>・ 代謝にかかわる酵素</li> <li>・ 生体内におけるエネルギー変換</li> </ul>	
2	14	生物と遺伝子	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ DNA の構造</li> <li>・ DNA の遺伝情報</li> <li>・ 細胞分裂と DNA の複製</li> </ul>	
	14	遺伝情報とタンパク質の合成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 遺伝情報の流れ・転写・翻訳</li> <li>・ 遺伝子の発見と生命現象</li> </ul>	
3	14	生物の体内環境の維持	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 体内環境の特徴</li> <li>・ 心臓と血液循環</li> <li>・ 体内環境を調節する器官</li> </ul>	

評 価	(観点・基準) 1. 生物に対するかかわり方について考え、判断する能力を身につける。 2. 身近な生物の現象について関心や探究心をもたせる。
-----	--

# 平成27年度年間授業計画

東京都立第三商業高等学校 定時制

		担 当 者	
教 科	保健体育	科 目	体育(2単位)
対 象	1年女子		
教 科 書	最新高等保健体育(大修館書店)		
副教材その他	体操着、体育館履き、グラウンド専用シューズ		
目 標	各種目の運動を実施する中で、基本的な技能の習得や仲間と協力した動きができるようにする。体力の向上を目指すとともに自身や仲間の安全を考えて運動を実施する。		
学期	時間	単 元	内 容
1	2	体力テスト測定	50m 走、ハンドボール投げ
	12	テニス	・ 基本的技能の習得 ・ 試合
	14	バレーボール	・ 基本的技能の習得 ・ 試合
2	9	サッカー	・ 基本的技能の習得 ・ 試合
	9	ソフトボール	・ 基本的技能の習得 ・ 試合
	10	バスケット	・ 基本的技能の習得 ・ 試合
3	14	バトミントン 卓球	・ 基本的技能の習得 ・ 試合

評 価	(観点・基準)
	観点別評価とする。 ○関心・意欲・態度 ○技能 ○思考・判断・表現 ○知識・理解

# 平成27年度年間授業計画

東京都立第三商業高等学校 定時制

		担 当 者		
教 科	保健体育	科 目	体育（2単位）	
対 象	1年生男子			
教 科 書	最新高等学校保健体育（大修館書店）			
副教材その他	指定体操着、体育館履き			
目 標	基礎・基本向上、応用力を身につける。			
学期	時間	単 元	内 容	
1	2	新体力テスト	ハンドボール投げ、50m 走を行い、現在の自分自身の体力を知る。	
	7	ソフトボール	道具の取り扱い方、操作方法を学習し、ゲームを行う。	
2	10	バスケットボール	基礎・基本→パス、シュート 応用→実戦練習、ゲーム	
	10	サッカー	基礎・基本→パス、シュート 応用→実戦練習、ゲーム	
3	12	バドミントン	道具の取り扱い方、操作方法を学習し、1対1、2対2のゲームを行う。	

評 価	(観点・基準) 関心・意欲・態度・判断力・技能
-----	----------------------------



# 平成27年度年間授業計画

東京都立第三商業高等学校 定時制

		担 当 者	
教 科	保健体育	科 目	保健(1単位)
対 象	1年		
教 科 書	最新高等保健体育(大修館書店)		
副教材その他			
目 標	健康課題に対して、一人一人がよりよく解決していく能力や資質を身に付け、生涯を通して健康で安全な生活を送ることができるようにする。		
学期	時間	単 元	内 容
1	7	現代社会と健康	1、健康の考え方と成り立ち 2、私たちの健康のすがた 3、健康に関する意志決定・行動選択と環境づくり 4、生活習慣病とその予防
	7	現代社会と健康	5、食事と健康 6、運動・休養と健康 7、喫煙と健康 8、飲酒と健康
2	7	現代社会と健康	9、薬物乱用と健康 10、感染症と予防 11、性感染症・エイズとその予防 12、欲求と適応機制
	7	現代社会と健康	13、心身の相関とストレス 14、心の健康のために 15、交通事故の現状と要因 16、交通事故を防ぐために
3	7	現代社会と健康	17、応急手当の意義とその基本 18、日常的な応急手当 19、心肺蘇生法の原理とおこない方

評 価	(観点・基準)
	観点別評価とする。
	○関心・意欲・態度 ○思考・判断・表現 ○知識・理解

# 平成27年度年間授業計画

東京都立第三商業高等学校 定時制

		担 当 者		
教 科	保健体育		科 目	体育(2単位)
対 象	2年女子			
教 科 書	最新高等保健体育(大修館書店)			
副教材その他	体操着、体育館履き、グラウンド専用シューズ			
目 標	各種目の運動を実施する中で、基本的な技能の習得や仲間と協力した動きができるようにする。体力の向上を目指すとともに自身や仲間の安全を考えて運動を実施する。			
学期	時間	単 元	内 容	
1	2	体力テスト測定	50m 走、ハンドボール投げ	
	12	テニス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基本的技能の習得</li> <li>・ 試合</li> </ul>	
	14	バレーボール	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基本的技能の習得</li> <li>・ 試合</li> </ul>	
2	9	サッカー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基本的技能の習得</li> <li>・ 試合</li> </ul>	
	9	ソフトボール	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基本的技能の習得</li> <li>・ 試合</li> </ul>	
	10	バスケット	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基本的技能の習得</li> <li>・ 試合</li> </ul>	
3	14	バトミントン 卓球	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基本的技能の習得</li> <li>・ 試合</li> </ul>	

	(観点・基準)
評 価	観点別評価とする。 ○関心・意欲・態度   ○技能   ○思考・判断・表現   ○知識・理解

# 平成27年度年間授業計画

東京都立第三商業高等学校 定時制

		担 当 者		
教 科	保健体育	科 目	体育（2単位）	
対 象	2年生男子			
教 科 書	最新高等保健体育（大修館書店）、			
副教材その他	指定体操着、体育館履き			
目 標	基礎・基本向上、応用力を身につける。			
学期	時間	単 元	内 容	
1	2	新体力テスト	ハンドボール投げ、50m 走を行い、現在の自分自身の体力を知る。	
	7	ソフトボール	道具の取り扱い方、操作方法を学習し、ゲームを行う。	
2	10	バスケットボール	基礎・基本→パス、シュート 応用→実戦練習、ゲーム	
	10	サッカー	基礎・基本→パス、シュート 応用→実戦練習、ゲーム	
3	12	バドミントン	道具の取り扱い方、操作方法を学習し、1対1、2対2のゲームを行う。	

評 価	(観点・基準) 関心・意欲・態度・判断力・技能
-----	----------------------------

# 平成27年度年間授業計画

東京都立第三商業高等学校 定時制

		担 当 者	
教 科	保健体育	科 目	保健(1単位)
対 象	2年		
教 科 書	最新高等保健体育(大修館書店)		
副教材その他			
目 標	生涯の各段階における健康課題に応じた自己の健康管理を行い、保健・医療制度を活用できるようにする。また、医薬品に対する理解を深める。		
学期	時間	単 元	内 容
1	7	現代社会と健康	17、応急手当の意義とその基本 18、日常的な応急手当 19、心肺蘇生法の原理とおこない方
	7	生涯を通じる健康	1、 思春期と健康 2、 性への関心・欲求と性行動 3、 妊娠・出産と健康
2	7	生涯を通じる健康	4、 避妊法と人工妊娠中絶 5、 結婚生活と健康 6、 中高年期と健康
	7	生涯を通じる健康	7、 医薬品とその活用 8、 医療サービスとその活用 9、 保健サービスとその活用 10、さまざまな保健活動や対策
3	7	社会生活と健康	1、 大気汚染と健康 2、 水質汚濁、土壌汚染と健康 3、 環境汚染を防ぐ取り組み

評 価	(観点・基準) 観点別評価とする。 ○関心・意欲・態度 ○思考・判断・表現 ○知識・理解
-----	--

# 平成27年度年間授業計画

東京都立第三商業高等学校 定時制

		担 当 者		
教 科	保健体育		科 目	体育(2単位)
対 象	3年女子			
教 科 書	最新高等保健体育(大修館書店)			
副教材その他	体操着、体育館履き、グラウンド専用シューズ			
目 標	各種目の運動を実施する中で、基本的な技能の習得や仲間と協力した動きができるようにする。体力の向上を目指すとともに自身や仲間の安全を考えて運動を実施する。			
学期	時間	単 元	内 容	
1	2	体力テスト測定	50m 走、ハンドボール投げ	
	12	テニス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基本的技能の習得</li> <li>・ 試合</li> </ul>	
	14	バレーボール	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基本的技能の習得</li> <li>・ 試合</li> </ul>	
2	9	サッカー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基本的技能の習得</li> <li>・ 試合</li> </ul>	
	9	ソフトボール	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基本的技能の習得</li> <li>・ 試合</li> </ul>	
	10	バスケット	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基本的技能の習得</li> <li>・ 試合</li> </ul>	
3	14	バトミントン 卓球	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基本的技能の習得</li> <li>・ 試合</li> </ul>	

	(観点・基準)
評 価	観点別評価とする。
	○関心・意欲・態度    ○技能    ○思考・判断・表現    ○知識・理解

# 平成 27 年度年間授業計画

東京都立第三商業高等学校 定時制

		担 当 者		
教 科	保健体育		科 目	体育（2単位）
対 象	3年生男子			
教 科 書	最新高等保健体育（大修館書店）			
副教材その他	体操着、体育館履き			
目 標	基礎・基本向上、応用力を身につける。			
学期	時間	単 元	内 容	
1	2	新体力テスト	ハンドボール投げ、50m 走を行い、現在の自分自身の体力を知る。	
	7	ソフトボール	道具の取り扱い方、操作方法を学習し、ゲームを行う。	
2	10	バスケットボール	基礎・基本→パス、シュート 応用→実戦練習、ゲーム	
	10	サッカー	基礎・基本→パス、シュート 応用→実戦練習、ゲーム	
3	12	バドミントン	道具の取り扱い方、操作方法を学習し、1対1、2対2のゲームを行う。	

評 価	<p style="margin: 0;">（観点・基準）</p> <p style="margin: 0;">関心・意欲・態度、判断力、技能</p>
-----	---

# 平成 27 年度年間授業計画

東京都立第三商業高等学校 定時制

		担 当 者		
教 科	保健体育		科 目	体育(2単位)
対 象	4年女子			
教 科 書	最新保健体育(大修館書店)			
副教材その他	体操着、体育館履き、グラウンド専用シューズ			
目 標	各種目の運動を実施する中で、基本的な技能の習得や仲間と協力した動きができるようにする。体力の向上を目指すとともに自身や仲間の安全を考えて運動を実施する。			
学期	時間	単 元	内 容	
1	2	体力テスト測定	50m 走、ハンドボール投げ	
	12	テニス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基本的技能の習得</li> <li>・ 試合</li> </ul>	
	14	バレーボール	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基本的技能の習得</li> <li>・ 試合</li> </ul>	
2	9	サッカー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基本的技能の習得</li> <li>・ 試合</li> </ul>	
	9	ソフトボール	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基本的技能の習得</li> <li>・ 試合</li> </ul>	
	10	バスケット	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基本的技能の習得</li> <li>・ 試合</li> </ul>	
3	14	バトミントン 卓球	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基本的技能の習得</li> <li>・ 試合</li> </ul>	

	(観点・基準)
評 価	観点別評価とする。
	○関心・意欲・態度    ○技能    ○思考・判断・表現    ○知識・理解

# 平成27年度年間授業計画

東京都立第三商業高等学校 定時制

		担 当 者		
教 科	保健体育	科 目	体育（2単位）	
対 象	4年生男子			
教 科 書	最新保健体育（大修館書店）			
副教材その他	体操着、体育館履き			
目 標	基礎・基本向上、応用力を身につける。			
学期	時間	単 元	内 容	
1	2	新体力テスト	ハンドボール投げ、50m 走を行い、現在の自分自身の体力を知る。	
	7	ソフトボール	道具の取り扱い方、操作方法を学習し、ゲームを行う。	
2	10	バスケットボール	基礎・基本→パス、シュート 応用→実戦練習、ゲーム	
	10	サッカー	基礎・基本→パス、シュート 応用→実戦練習、ゲーム	
3	12	バドミントン	道具の取り扱い方、操作方法を学習し、1対1、2対2のゲームを行う。	

評 価	(観点・基準) 関心・意欲・態度、判断力、技能
-----	----------------------------



# 平成 27 年度年間授業計画

東京都立第三商業高等学校 定時制

		担 当 者		
教 科	芸術		科 目	書道 I (2 単位)
対 象	第 1 学年			
教 科 書	光村図書出版「書道 I」			
副教材その他				
目 標	漢字の成り立ちを学び、書の基本用筆と各書体・書風を理解し実技に生かす。			
学期	時間	単 元	内 容	
1	8	漢字の成り立ち	六書を学び、部首の理解を深める。	
	12	片仮名 } } の成立 平仮名	漢字から仮名への変化 正しい字形のとり方	
2	8	行書・草書	平仮名と草書の関係 省略法を学ぶ	
	12	臨書	古典を習う 様々な書体の違い	
3	14	創作 実用	色紙や短冊の作品作り 日常生活の中で必要な書式を学ぶ	

評 価	<p>(観点・基準)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 各時間の集中と取組。</li> <li>2. 作品の完成度。</li> <li>3. 提出課題の数。</li> </ol>
--------	--

# 平成27年度年間授業計画

東京都立第三商業高等学校 定時制

		担 当 者	
教 科	英語	科 目	コミュニケーション英語基礎 (2単位)
対 象	1年生		
教 科 書	JOYFUL English コミュニケーション英語基礎		
副教材その他	独自に作成したワークシート		
目 標	1. 海外に対する興味や関心を持ち、英語の学習に積極的な姿勢を持つ。 2. 中学英語の徹底復習により基礎的な文法と語彙を習得する。		
学期	時間	単 元	内 容
1	2 8	Lesson1 Let's Communicate1	Just Like Me (多文化理解) Be動詞と一般動詞 疑問文と否定文  自己紹介
2	1 4	Lesson2 Let's Communicate2	My School Days (手塚治虫) 過去形と受け身
	1 4	Lesson3 Let's Communicate3	Our Life (障がい者の願い) 否定文・動名詞・進行形
3	1 4	Lesson4	Senryu in English (川柳) 助動詞・命令文

評 価	(観点・基準) 1. 英語を使って積極的にコミュニケーションをしようとする意欲がある。 2. 基本的な語彙を習得している。 3. 既習の英文を声に出して読むことができる。 4. 文法を理解し、正しく使うことができる。
-----	--

# 平成27年度年間授業計画

東京都立第三商業高等学校 定時制

		担 当 者	
教 科	英語	科 目	コミュニケーション英語基礎 (2単位)
対 象	2年生		
教 科 書	JOYFUL English コミュニケーション英語基礎		
副教材その他	独自に作成したワークシート		
目 標	3. 基礎的な文法と語彙を習得し、読む力をはぐくむ。 4. 例文を参考にして、短文を書けるようにする。 5. 外国人講師との会話およびリスニング問題や音読練習を多く重ねることにより聞く力や話す力を高める。		
学期	時間	単 元	内 容
1	1 4	Lesson 4	Senryu in English (川柳) 助動詞・命令文
	1 4	Lesson 5	Soccer Balls to Afghanistan (国際支援) 不定詞・It...to
2	1 4	Lesson 6	The Serengeti (自然保護) 現在分詞・過去分詞
	1 4	Enjoy a Story	The Duck in the Gun (アヒルが戦争を止めた)
3	1 4	Lesson7	What a Wonderful World(音楽と人生) 関係代名詞・接続詞

	(観点・基準)
評 価	5. 英語を使って積極的にコミュニケーションをしようとする意欲がある。 6. 基本的な語彙を習得している。 7. 既習の英文を声に出して読むことができる。 8. 文法を理解し、正しく使うことができる。 9. 例文を参考にして短文を書くことができる。

# 平成27年度年間授業計画

東京都立第三商業高等学校 定時制

		担 当 者		
教 科	英語	科 目	選択オーラル・コミュニケーションⅠ（2単位）	
対 象	4年生選択者			
教 科 書	Revised Sailing Oral Communication I 啓林館			
副教材その他	独自に作成したワークシート			
目 標	1. 積極的に英語でコミュニケーションをしようとする姿勢を身につける。 2. 基本的な会話表現を習得する。 3. 簡単な英語で日常生活について表現し、クラスメイトと情報交換を行う。			
学期	時間	単 元	内 容	
1	1 4	1. あいさつと自己紹介 2. 学校生活	・名前、出身、兄弟の有無、趣味等についての表現 ・教科の名前、時間帯や担当の先生についての表現	
	1 4	3. 週末の予定 4. 機内	・過去の出来事について質疑応答する表現、後悔の表現 ・自分の要求を依頼する方法、機内アナウンス	
2	1 4	5. 電話 6. 道案内	・電話での応答表現 ・人に道を聞くとき、聞かれた時の応答の表現	
	1 4	7. ショッピング 8. パーティ	・買い物をするときの応答、金額や数字の練習 ・相手をほめる表現、人を描写する表現	
3	1 4	9. 病院 10. 職業	・体の部位や症状の表現、体調やけがの症状 ・未来について述べる方法、希望を述べる方法	

評 価	(観点・基準)
	1. 外国人講師や教員の話す英語を積極的に聞き取ろうとしている。
	2. 日常的な英語のフレーズを覚え、活用しようとしている。
	3. 学習した表現を使って、自分のことを伝えたり相手のことを聞いたりしている。

# 平成27年度年間授業計画

東京都立第三商業高等学校 定時制

		担 当 者		
教 科	英語	科 目	コミュニケーション英語 I (2単位)	
対 象	3年生			
教 科 書	VISTA English Communication I			
副教材その他	独自に作成したワークシート			
目 標	1. コミュニケーション英語基礎で学んだことを土台として、文構造を理解し、読解力の向上をはかる。 2. 音読練習などを通して基本例文を習得し、聞く・話す・書く力を総合的に高める。			
学期	時間	単元	内 容	
1	1 4	Lesson 1	A White Land Be動詞・一般動詞	
	1 4	Lesson2	Skiing in the Desert 疑問文・現在進行形	
2	1 4	Lesson3	Is Bento English? 助動詞・過去形	
	1 4	Lesson4	Mont-Saint-Michel SVO・SVOO・SVOC	
3	1 4	Lesson5	Baobabs in Madagascar 不定詞	

評 価	(観点・基準)
	1. 英語でコミュニケーションをしようとする意欲と理解しようという姿勢がある。
	2. 既習の英文を声に出して読むことができる。
	3. 各単元の内容を易化した文章を理解することができる。
	4. 基本例文の構造を理解し、学習事項を使用した短文を書くことができる。

# 平成 27 年度年間授業計画

東京都立第三商業高等学校 定時制

		担 当 者	
教 科	英語	科 目	英語Ⅱ (2単位)
対 象	4年生		
教 科 書	NEW English PALⅡ New Edition (桐原書店)		
副教材その他	独自に作成したワークシート		
目 標	3. 英語Ⅰで学んだことを土台として、文構造を理解し、読解力の向上をはかる。 4. 音読練習などを通して基本例文を習得し、聞く・話す・書く力を総合的に高める。 5. 生活の色々な場面で使う頻出フレーズを習得する。		
学期	時間	単 元	内 容
1	1 4	Lesson 6	<b>The Story of Benji and Satomi</b> 盲導犬になれなかった犬と少女の物語 seem+to 不定詞 仮定法過去
	1 4	Lesson 7	<b>The Man Who Dreamed of Flying</b> 「星の王子様」の作者サン＝テグジュペリの生涯 願望を表す wish 関係代名詞 what
2	1 4	Lesson 8	<b>Interview with a Reference: Oiwa Mayumi</b> サッカーの女性審判員が語るレフリーの魅力 関係副詞 助動詞+完了形
	1 4	Lesson 9	<b>Letters from Heaven</b> 雪の結晶が教えてくれる空のようす 関係代名詞の非制限用法 S+V(be 動詞)+C(C=that 節)
3	1 4	Lesson 10	<b>Think globally, Act Locally!</b> 宮古島の水を守った宮古農林高校の生徒たち 分詞構文 助動詞+受け身
評 価	(観点・基準) 1. 英語でコミュニケーションをしようとする意欲と理解しようという姿勢がある。 2. 既習の英文を声に出して読むことができる。 3. 各単元の内容を易化した文章を理解することができる。 4. 基本例文の構造を理解し、学習事項を使用した短文を書くことができる。		

# 平成27年度年間授業計画

東京都立第三商業高等学校 定時制

		担 当 者	
教 科	家庭	科 目	家庭基礎（2単位）
対 象	第4学年		
教 科 書	家庭基礎 自立・共生・創造（東京書籍）		
副教材その他	サポートノート		
目 標	人の一生と家族、子供の発達と保育、高齢者の生活と福祉、衣食住、消費生活などに関する知識と技術を総合的に習得させ、生活課題を主体的に解決するとともに、家庭生活の充実を図る能力と実践的な態度を育てる。		
学期	時間	単 元	内 容
1	14	装う エコバッグの作成	身近な服装に着目し、さまざまな視点から話し合ってみることで衣生活に興味・関心を持つ。 着衣動機など衣生活を見つめ直す。 衣服のラベルやタグを理解する。
	14	衣服を作る	衣服の機能には「保健衛生機能」と「社会生活機能」があることを理解する。世界に一つしかない自分のブランドの作品を作る。汚れと賢い保存法を理解する。
2	14	育つ・育てる （あなたの心や体の発達を振り返ってみよう） 子供と出会う。	子供に対するイメージを膨らませ、保育学習の意義を理解する。子供の発達を身体・運動機能・言葉・知能の観点から理解する。また、遊びの意義を理解し、遊具の製作や食事の実習を取り入れ、乳幼児の安全、健康などについても学習する。母体の健康管理の重要性と生命の尊さを認識する。保育における親の役割について理解する。
	14	子供を知る。 自分の未来像としての子育て支援を学ぶ	保育における親の役割について理解する。家庭保育と集団保育のそれぞれの意義を理解する。育児不安や児童虐待の起こる理由を知り、子供にとって望ましい保育環境を考える。児童福祉の基本的な理念について理解する。
3	6	食べる （コンビニ弁当に見る食生活） 食べ物を作る レシピを理解する どう食べたらよいか？	手軽に手に入る「コンビニ弁当」を例にあげ、様々な視点から分析してみると食生活に関心を持つ。朝食調査を通して自分の食生活の問題点について考え、バランスのよい食事について理解する。レシピを理解し、調理に関しての基礎的な知識・技術を身につける。食生活の歴史や地域の食文化を知り、これからの楽しい食事の工夫をする。配膳や食事のマナー、環境への配慮について理解する。

評 価	(観点・基準)
	1. 人の一生と家族・福祉、衣食住、消費生活について関心を持ち、その充実・向上に取り組もうとしている。 2. 人の一生と家族・福祉、衣食住、消費生活について見直し、課題を発見・解決を目指すために思考・判断・工夫することができる。 3. 人の一生と家族・福祉、衣食住、消費生活についての基礎的・基本的な知識・技術を身につけている。

# 平成27年度 年間授業計画

東京都立第三商業高等学校 定時制

		担 当 者	
教 科	奉 仕	科 目	奉仕 (1単位)
対 象	第2学年		
教 科 書	東京都教育委員会 「奉仕～高校生ので社会をよりよく変えよう～」		
副教材その他	自作プリント 他		
目 標	1. 奉仕体験活動や他者とのかかわりを通して、社会の一員であることを自覚する。 2. 商業科目で習得した技能を地域の高齢者に教えることを通し、地域に貢献する。		
学期	時間	単 元	内 容
1	18	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 事前学習</li> <li>○ 体験活動リハーサル</li> <li>○ 奉仕体験活動</li> <li>○ 事後活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ テキストを使用し、「奉仕」を学ぶ意義について学習する。</li> <li>○ 奉仕体験活動の心得</li> <li>○ 奉仕体験活動の内容をリハーサルする。</li> <li>○ 地域の高齢者が必要としている「大活字本の作成」を行う。</li> </ul>
2	13	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 体験活動リハーサル</li> <li>○ 奉仕体験活動</li> <li>○ 事後活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 1学期の内容を想起しながら奉仕体験活動の内容をリハーサルする。</li> <li>○ 地域の高齢者が必要としている「大活字本の作成」を行う。</li> </ul>
3	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 事後活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 成果の分かち合い。グループの中で、メンバーの活動の自己評価シート・感想文を読み合う。</li> <li>○ 自分では気づかなかったこと、多くの生徒が共通に感じていることなどを報告しあう。</li> </ul>

評 価	<p>(観点・基準)「奉仕」を学ぶ意義について理解しているか</p> <p>授業(事前指導・体験活動・事後活動)に積極的に参加しているか</p> <p>体験活動「大活字本の作成」において、大きな字の小説を必要としている地域の高齢者を理解することができているか。</p>
-----	--



# 平成27年度年間授業計画

東京都立第三商業高等学校 定時制

		担 当 者	
教 科	商 業	科 目	ビジネス基礎 (2単位)
対 象	第1学年		
教 科 書	暁出版 「新ビジネス基礎」		
副教材その他	「新ビジネス基礎 ワークブック」、自作プリントなど		
目 標	ビジネスに関する基礎的な知識と技術を習得させ、経済社会の一員として望ましい心を身につけさせる。さらに、ビジネスの諸活動に対応する能力と態度を育てる。		
学期	時間	単 元	内 容
1	1 4	ビジネス基礎とは何か	基礎的商業用語の理解
		商業の学習のガイダンス	疑問点の積極的な提示
	1 4	ビジネスと売買取引	商業の流れの把握
		代金決済の手段と仕組み	手形・小切手の用語の理解
2	1 4	経済と流通の基礎	板書事項の書写、整理
		経済活動と流通	基礎的商業用語の理解
	1 4	企業活動の基礎	疑問点の積極的な提示
		企業活動と税	企業活動全般についての理解
3	1 4	ビジネスとコミュニケーション	板書事項の書写、整理
		ビジネスマナーの基礎	ビジネスマナーについて基礎的な理解
		コミュニケーションの基礎	ビジネスマナーの実際
		情報の入手と活用	情報リテラシー育成

評 価	(観点・基準)授業に対する取り組みと提出物・出席状況・テストなどで総合的に判断する 基礎的・基本的知識の習得を目指す。
-----	--

# 平成27年度 年間授業計画

東京都立第三商業高等学校 定時制

		担 当 者	
教 科	商 業	科 目	簿 記 (3単位)
対 象	第1学年		
教 科 書	「新簿記」 (実教出版)		
副教材その他	自作プリントなど		
目 標	簿記の基礎を学習していく。また、この科目を通して文字や数字の記入を正確に、かつていねいに行けるように指導していく。		
学期	時間	単 元	内 容
1	20	第I編・第1章～第4章	1意味 2役割 3種類 4資産・負債・資本 5貸借対照表 6利益または純損失 7収益と費用 8損益計算書 9勘定の意味と種類 10勘定口座
	25	第5章～第8章	11勘定の記入法 12取引の意味 13取引の8要素と結合関係 14仕訳の意味 15仕訳の方法 16転記 17仕訳帳 18総勘定元帳 19試算表 20精算表
2	20	第II編・第1章～第4章	1現金 2現金出納帳 3現金過不足 4当座預金 5当座借越 6当座預金出納帳 7その他の預貯金 8小口現金 9小口現金出納帳 10分記法 113分法 12仕入 13売上 14仕入帳取・支払手形記入帳
	25	第3章～第4章	15売上帳 16商品有高帳 17売掛金・売掛金元帳 18買掛金・買掛金元帳 19約束手形 20手形割引 21為替手形
3	25	第III編・第5章～第10章	1その他の債権・債務 2手形貸付金・手形借入金 3前払金・前受金 4未収金・未払金 5仮払金・仮受金 6従業員立替金・従業員預り金 7有価証券 8固定資産 9営業費 10資本の記帳 11税金の記帳

評 価	(観点・基準) 基礎的・基本的知識の習得を目指す。 また、簿記の理論を理解し、資産と負債と資本、収益と費用の違いを理解できるようにする。
-----	--

# 平成27年度 年間授業計画

東京都立第三商業高等学校 定時制

		担 当 者	
教 科	商 業	科 目	情報処理 (3単位)
対 象	第1学年		
教 科 書	情報処理 実教出版		
副教材その他	日本情報処理検定協会日本語ワープロ検定模擬問題集 (1~3級) 日本情報処理検定協会情報処理検定模擬問題集 (2・3級) 自作プリント ほか		
目 標	○ワープロソフトを利用した文書・作品制作の知識・技術の身につける。 ○日本情報処理検定協会ワープロ検定で各自の設定した級の取得を目指す。 ○表計算ソフトの基礎的な知識・技術を身につける。 ○日本情報処理検定協会情報処理検定で各自の設定した級の取得を目指す。		
学期	時間	単 元	内 容
1	20	情報の活用と情報モラル 実習 ○ 文字入力練習 ○ 通信文の作成 ○ 検定事前練習	情報の意義・セキュリティー・個人情報 ○ 作表・表中の文字入力とレイアウト ○ 図形描画を使用した地図等の作製 ○ 練習問題を使用した検定事前練習
	25	情報通信ネットワーク 実習 ○ 文字入力練習 ○ 通信文の作成 ○ 検定事前練習	情報通信ネットワークの概要 実習 ○ 通信文のルール・体裁そろえ・文字装飾 ○ 作表・表中の文字入力とレイアウト ○ 図形描画を使用した地図・はがき等の作製 ○ 練習問題を使用した検定事前練習
2	20	実習 ○ 表計算ソフトの基礎	実習 ○ 表計算ソフトの概要 ○ 入力方法と機能の活用(基礎) ○ 計算式の入力と関数(SUM、AVERAGE等)
	25	実習 ○ 表計算ソフトの活用1	実習 ○ 計算式の入力と関数(ROUND等) ○ 基礎的な関数を使用した計算表の作成 ○ 日本情報処理検定協会情報処理検定3級の練習
3	25	実習 ○ 表計算ソフトの活用2	実習 ○ 計算式の入力と関数(VLOOKUP等) ○ グラフの作成、並べ替え等 ○ 日本情報処理検定協会情報処理検定2級の練習

評 価	(観点・基準) 情報を収集・処理・分析し、表現する知識と技術を習得、理解させ、3学年のビジネス情報を学習するための基礎を固める。
-----	---

# 平成27年度年間授業計画

東京都立第三商業高等学校 定時制

		担 当 者	
教 科	商 業	科 目	簿 記 (2単位)
対 象	第2学年		
教 科 書	「新簿記 新訂版」 (実教出版)		
副教材その他	自作プリントなど		
目 標	1年での学習を発展させる。また、この科目を通して文字や数字の記入を正確に、かつていねいに書けるように指導していく。		
学期	時間	単 元	内 容
1	1 4	第Ⅰ編・第1章～第2章	1意味 2役割 3種類 4資産・負債・資本 5貸借対照表 6利益または純損失 7収益と費用 8損益計算書 9勘定の意味と種類 10勘定口座
	1 4	第3章～第4章	11勘定の記入法 12取引の意味 13取引の8要素と結合関係 14仕訳の意味 15仕訳の方法 16転記 17仕訳帳 18総勘定元帳 19試算表 20精算表
2	1 4	第Ⅱ編・第5章～第7章	1その他の債権・債務 2手形貸付金・手形借入金 3前払金・前受金 4未収金・未払金 5仮払金・仮受金
	1 4	第8章～第10章	6従業員立替金・従業員預り金 7有価証券 8固定資産 9営業費 10資本の記帳 11税金
3	1 4	簿記検定3級及び2級の学習	総まとめ及び1学期から2学期までの復習 検定試験に対する学習

評 価	(観点・基準)基礎的・基本的知識の習得を目指す。 また、簿記の理論を理解し、資産と負債と資本、収益と費用の違いを理解できるようにする。
-----	--

# 平成27年度 年間授業計画

東京都立第三商業高等学校 定時制

		担 当 者	
教 科	商 業	科 目	ビジネス情報 (2単位)
対 象	第2学年		
教 科 書	ビジネス情報 実教出版		
副教材その他	自作プリント ほか		
目 標	○日本情報処理検定協会情報処理検定で各自の設定した級の取得を目指す。 ○表計算ソフトの発展的な知識・技術を身につける。		
学期	時間	単 元	内 容
1	1 4	○ビジネスと情報 ○ネットワークの基礎 ○表計算ソフトの利用1	○情報化社会とビジネス ○ネットワークの基礎・構築・管理 ○集計処理
	1 4	○表計算ソフトの利用1	○日本情報処理検定協会情報処理検定3級の練習 ○ビジネス計算
2	1 4	○表計算ソフトの活用1	○日本情報処理検定協会情報処理検定3級の練習 ○手続きの自動化
	1 4	○表計算ソフトの活用2	○日本情報処理検定協会情報処理検定3級の練習 ○データベースソフトウェアの活用
3	1 4	○表計算ソフトの活用3	○日本情報処理検定協会情報処理検定3級の練習 ○データベースソフトウェアの利用

評 価	(観点・基準) 情報通信ネットワークに関する知識を深め、表計算ソフトウェアを活用し、ビジネスにおける表計算ソフトウェアを利用し、応用する能力と態度を育てる。また、各種パソコン利用する検定試験への取り組みも行う。
-----	--

# 平成27年度 年間授業計画

東京都立第三商業高等学校 定時制

		担 当 者	
教 科	商 業	科 目	マーケティング(2単位)
対 象	第2学年		
教 科 書	『マーケティング』 東京法令出版		
副教材その他	自作プリントなど		
目 標	商業の基本科目の一つである『マーケティング』の基本的な知識と技能を習得し、次年度の販売士の資格取得に向けて取り組み、努力することの重要性を体験させる。		
学期	時間	単 元	内 容
1	1 2	現代市場とマーケティング	生産と消費の動向 現代市場の特徴とマーケティング
	1 3	市場調査 販売促進	市場調査の意味と方法 POP広告の実習を行う
2	1 2	販売計画 製品計画 販売促進	販売計画と販売予測 販売計画の設定と販売割当 製品計画の必要性と新製品の開発 POP広告の実習を行う
	1 3	仕入計画 商品管理	仕入計画の意味と手順と内容 在庫管理 商品の物的管理
3	2 0	販売価格 流通経路	販売価格の決定 販売価格政策 流通経路の設定 流通経路の強化

評 価	(観点・基準) マーケティングの重要性を理解することができ、商業活動において不可欠な活動であることが理解できるようになる。
-----	--

# 平成27年度年間授業計画

東京都立第三商業高等学校 定時制

		担 当 者	
教 科	商 業	科 目	財務会計Ⅰ（2単位）
対 象	第3学年		
教 科 書	「財務会計Ⅰ」（東京法令出版）		
副教材その他	自作プリントなど		
目 標	1・2年での簿記の学習を発展させる。また、この科目を通して文字や数字の記入を正確に、かつていねいに書けるように指導していく。		
学期	時間	単 元	内 容
1	1 4	第Ⅰ編 財務会計の基礎・ 第1章～第5章	1企業会計の意義と役割 2会計法規と会計基準 3株式会社の設立・開業と株式の発行 4当期純損益の計上と剰余金の配当・処分 5社債
	1 4	第6章 第Ⅱ編 貸借対照表 第1章～第4章	6株式会社の税務  1貸借対照表の概要 2資産の意味・分類と評価 3流動資産 4固定資産
2	1 4	第5章～第8章 第Ⅲ編 損益計算書 第1章	5繰延資産 6負債の意味・分類 7純資産の意味・分類 8貸借対照表の作成  1損益計算の意味と損益の区分
	1 4	第2章～第4章 第Ⅳ編 財務諸表活用の 基礎 第1章～第2章	2収益・費用の認識と測定 3損益計算書の作成 4その他の財務諸表  1財務諸表の意義 2財務諸表の見方
3	1 4	第Ⅴ編 連結財務諸表 第1章	1連結財務諸表  総まとめ及び1学期から2学期までの復習 検定試験に対する学習

評 価	(観点・基準)基礎的・基本的知識の習得からやや発展的な内容を目指す。 また、簿記の理論を理解し、貸借対照表と損益計算書について理解できるようにする。
-----	---

# 平成27年度 年間授業計画

東京都立第三商業高等学校 定時制

		担 当 者	
教 科	商 業	科 目	ビジネス実務 (2単位)
対 象	第3学年		
教 科 書	ビジネス実務 (東京法令出版)		
副教材その他	自作プリントなど		
目 標	ビジネスの諸活動を円滑に行う能力と態度を育成していく。		
学期	時間	単 元	内 容
1	28	第1章 第1節～第4節	企業の組織の仕事 職業人としての心構え コミュニケーションとビジネスマナー 情報化とオフィス実務
2	28	第2章 第1節～第2節	国際化とコミュニケーション ビジネス文書
3	14	第1章 5節 第3章 第1節	税の申告と納税 計算の基礎

評 価	(観点・基準) オフィス実務、ビジネス英語、計算に関する知識と技術を習得していく。
-----	---



# 平成27年度 年間授業計画

東京都立第三商業高等学校 定時制

		担 当 者	
教 科	商 業	科 目	ビジネス情報(選択3単位)
対 象	第3学年		
教 科 書	ビジネス情報 実教出版		
副教材その他	自作プリント ほか		
目 標	○日本情報処理検定協会情報処理検定・文書デザイン検定で各自の設定した級の取得を目指す。 ○表計算ソフトの発展的な知識・技術を身につける。		
学期	時間	単 元	内 容
1	1 4	○ビジネスと情報 ○ネットワークの活用  ○表計算ソフトの活用	○情報化社会とビジネス ○ネットワークの基礎・構築・管理  ○ビジネス計算 ○日本情報処理検定協会文書デザイン1級の練習
	1 4	○表計算ソフトの活用 ワードプロソフトの活用	○ビジネス計算 ○日本情報処理検定協会文書デザイン1級の練習
2	1 4	○表計算ソフトの活用1	○日本情報処理検定協会情報処理検定2級の練習  ○手続きの自動化
	1 4	○表計算ソフトの活用2	○日本情報処理検定協会情報処理検定2級の練習  ○データベースソフトウェアの活用
3	1 4	○表計算ソフトの活用3	○日本情報処理検定協会情報処理検定2級の練習  ○データベースソフトウェアの利用

評 価	(観点・基準) 情報通信ネットワークに関する知識を深め、表計算ソフトウェアを活用し、ビジネスにおける表計算ソフトウェアを利用し、応用する能力と態度を育てる。また、各種パソコン利用する検定試験への取り組みも行う。
-----	--

# 平成27年度 年間授業計画

東京都立第三商業高等学校 定時制

		担 当 者	
教 科	商 業	科 目	商業選択(原価計算)(3単位)
対 象	第3学年		
教 科 書	原価計算 (東京法令出版)		
副教材その他	自作プリントなど		
目 標	工業簿記の学習していく。またこの科目を通して原価計算を正確に理解できるように指導していく。		
学期	時間	単 元	内 容
1	20	工業簿記の基本	原価計算の基礎 原価計算のあらまし 商業簿記との違いを理解させる
	25	工業簿記の基本	原価計算の特色 工業簿記の基本的な仕組み 商業簿記との違いを理解させる
2	20	原価の費目計算	材料費の計算と記帳 労務費の計算と記帳
	25	原価の費目計算	経費の計算と記帳 個別原価計算と製品別計算
3	25	決算	製品の完成と販売 標準原価計算 直接原価計算

評 価	(観点・基準) 基礎的・基本的知識の習得を目指す。原価計算から得られるデータをもとにして、基礎的な仕訳や勘定記入を行えるようにする。
-----	---

# 平成27年度年間授業計画

東京都立第三商業高等学校 定時制

		担 当 者	
教 科	商 業	科 目	総合実践 (3単位)
対 象	第4学年		
教 科 書	なし		
副教材その他	本校作成テキスト 帳票類・伝票 ほか		
目 標	○商業科目の総合的な科目として、ビジネス基礎・簿記・情報処理などの内容を実践的な取引を通じて学習する。		
学期	時間	単 元	内 容
1	2 1	1. 開業準備	取引の流れ等の説明、使用書類配付、取引練習。 帳簿記入、書類の作成・整理 給料・経費の支払 総勘定元帳への転記
	2 1	2. 通常取引(約30回)	通常取引 (実践日 4月期～8月期) 仕入業務、代金の支払 販売業務、代金の受取
2	2 1	3. 月末業務	月末業務 (4月期～8月期の締め切り) 伝票の集計、補助簿の締め切り
	2 1	4. 決算業務	書類の集計・締め切り、決算整理、決算関係書類の作成
3	2 1	5. 1年間のまとめ	業務報告書の作成等

評 価	(観点・基準) 1. 授業の流れを理解し 作業手順の効率化などの判断能力を養うようにする。
-----	--

# 平成27年度年間授業計画

東京都立第三商業高等学校 定時制

		担 当 者	
教 科	商 業	科 目	課題研究(簿記1)(3単位)
対 象	第4学年		
教 科 書	「簿記」 (実教出版) 等		
副教材その他	自作プリントなど		
目 標	簿記の発展学習をしていく。またこの科目を通して数字の記入を正確に、かつていねいに書けるように指導していくと共に簿記の意味を理解していく。		
学期	時間	単 元	内 容
1	2 1	第Ⅱ編・第1章～第2章	1意味 2役割 3種類 4資産・負債・資本 5貸借対照表 6純利益または純損失 7収益と費用 8損益計算書 9勘定の意味と種類
	2 1	第3章～第4章	10勘定口座 11勘定の記入法 12取引の意味 13取引の8要素と結合関係 14仕訳の意味 15仕訳の方法 16 転記 17仕訳帳 18総勘定元帳 19試算表 20精算表
2	2 1	第Ⅱ編・第5章～第7章	1その他の債権・債務 2手形貸付金・手形借入金 3前払金・前受金 4未収金・未払金 5仮払金・仮受金 6従業員立替金・従業員預り金
	2 1	第8章～第10章	7有価証券 8固定資産 9営業費 10資本の記帳 11税金の記帳
3	2 1	簿記検定1級及び2級の 学習	総まとめ及び1学期から2学期までの復習  検定試験に対する学習

評 価	(観点・基準) 基礎的・基本的知識の習得を目指す。また1学期、2学期、3学期における考査による理解力を判断し、授業態度などにより総合的に評価する。
-----	--

# 平成 27 年度 年間授業計画

東京都立第三商業高等学校 定時制

		担 当 者		
教 科	商 業	科 目	課題研究(情報系)(3単位)	
対 象	第4学年			
教 科 書	なし			
副教材その他				
目 標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ コンピュータの基礎的な知識と操作技術を身につける。</li> <li>○ プレゼンテーションソフトを利用した作品作成の知識・技術を身につける</li> <li>○ 日本情報処理検定協会各種検定試験の資格取得を目指す。</li> </ul>			
学期	時間	単 元	内 容	
1	2 1	○プレゼンテーションソフト	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 作表・表中の文字入力とレイアウト、アニメーション</li> <li>○ 図形描画を使用した地図の作製</li> <li>○ 練習問題を使用した検定事前練習</li> <li>○ 作表・表中の文字入力とレイアウト</li> </ul>	
	2 1	○プレゼンテーションソフト	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 作表・表中の文字入力とレイアウト、アニメーション</li> <li>○ 図形描画を使用した地図の作製</li> <li>○ 練習問題を使用した検定事前練習</li> <li>○ 作表・表中の文字入力とレイアウト</li> </ul>	
2	2 1	○プレゼンテーションソフト ○検定事前練習	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 作表・表中の文字入力とレイアウト、アニメーション</li> <li>○ 図形描画を使用した地図の作製</li> <li>○ 練習問題を使用した検定事前練習</li> <li>○ 作表・表中の文字入力とレイアウト</li> </ul>	
	2 1	○プレゼンテーション作品 ○検定事前練習	○作品作成	
3	2 1	○プレゼンテーション作品	○作品作成、発表	

評 価	<p>(観点・基準)                  プレゼンテーションソフトを利用し、情報の収集・加工・発信を行う知識と技術を養う。各種検定試験にも取り組む。</p>
-----	---